



こばと

千葉市立第二特別支援学校

学 校 だ よ り

令和 8 年 9 月 14 日
第 5 号

夏休みが明け、子供たちの元気な声が戻ってきました

夏休みが明け、子供たちの笑顔が学校に戻ってきました。夏休み中は、地震や豪雨があり、自然災害の脅威や防災について考えさせられました。特に8月13日の豪雨は、多くの方にとって今までにない体験だったと思います。自家用車等の被害を受けたご家庭もあることを聞いております。私は、豪雨翌日の朝に第二特別支援学校の様子を見に行きました。道路は、川が氾濫した後の岩、放置された車の数々など大変な状況で、スクールバスのルートが心配になりました。その後なかなか開通しない道路もありましたが、結果的には通常のバスルートで9月のスタートを切ることができ安心しました。とはいえ、7日に休校となったように、大雨の影響を受けやすい状況は続いていますので、気象情報や道路状況に今まで以上に目を向けてまいります。

9月11日（金）に3・4・5年生が、ニッセイ名作シリーズのミュージカル「アヤとピノッキオの冒険」の鑑賞に行ってきました。千葉県文化会館に約1500人が集まり、移動の混雑やトイレの順番待ち等も生じましたが、先生の話の聞きながら安全に行動することができていました。

ミュージカルのストーリーは、主人公のアヤが自宅で人形に向かって話していると、突然人形（ピノッキオ）が動き出し、アヤと友達になりました。アヤはピノッキオに振り回されながらもいろいろな冒険をしていきます。

音楽や歌、ダンス、アニメーション映像、ミラーボールの照明など、リズムよく展開が切り替わり、1時間40分という長めの講演ではありましたが、ステージを見続けている子が非常に多かったです。人形だったピノッキオが突然動き出した瞬間に身を乗り出したり、寝ているアヤを観客全員で起こすコールレスポンスで、大きな声を出したり手を振ったりするなどの様子があり、その他にもストーリーのポイントとなる場面で子供たちのいろいろな反応が見られたことは、とてもうれしいことでした。講演の最後に出演者全員が舞台に登場した時は、会場が一体となって大きな拍手を送り、「楽しかった」という気持ちを全員で共有できたのではないかと思います。

夏休みが明け、子供たちは学校生活のリズムを取り戻しながら、日々の学習や活動に意欲的に取り組んでいます。今後も、校外学習、運動会、修学旅行、げんきキャンプなどの行事が続きます。日常の学校生活はもちろん、行事での特別な体験も、子供たちの成長につながる貴重な機会だと感じます。

これからも、一人一人の成長を温かく見守り、学校とご家庭で手を取り合って子供たちの学びを支えていきたいと考えております。10月8日には前期の終業式を迎えます。残暑にも気を付けながら、安全・安心に教育活動を進め、全員が健やかに前期を締めくくれるよう努めてまいります。